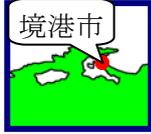


にぎわい 153号

～日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信～



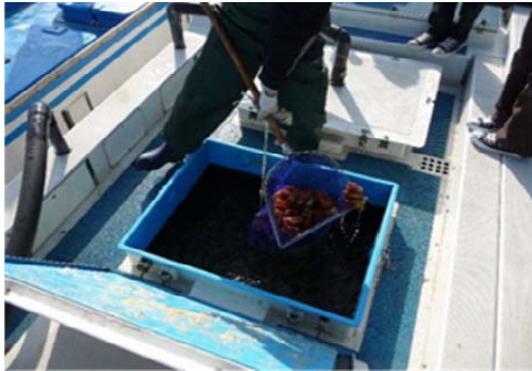
境港の国際貨客船を利用した韓国へのトライアル輸送

平成22年11月27日に、JR貨物、トラック、フェリーを利用した活魚ユニットによる養殖ホヤ3トンの韓国への輸送実験を実施しました。

この事業は、「環日本海における物流高度化検討委員会」（主催：国土交通省中国地方整備局）において、北海道から境港を経由した韓国（東海）へのシー&レールによる活魚のトライアル輸送が承認されたことに伴って行われたものです。

11月25日に函館を出発した活魚ユニット（株ジェックが開発した鉄道輸送用の活魚コンテナ）は、JR貨物で岡山に運ばれ、トラック輸送により、境港に到着。27日に境港の岸壁で韓国の活魚車に積み替えが行われました。翌28日に韓国の東海港に無事到着し、鮮度を保持したまま輸送できることが実証されました。

実用化されれば、現在利用されている下関ルートよりも、約30%の経費が削減されるほか、国内輸送が鉄道を中心になることから、環境面（CO2の削減）での効果も期待されます。
(境港管理組合)



活魚ユニットから活魚車への積み替え作業



自走によるフェリー船倉への積み込み



東海港に接岸



到着地でのホヤの状態

【編集・お問い合わせ先】

中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課
TEL：082-511-3908